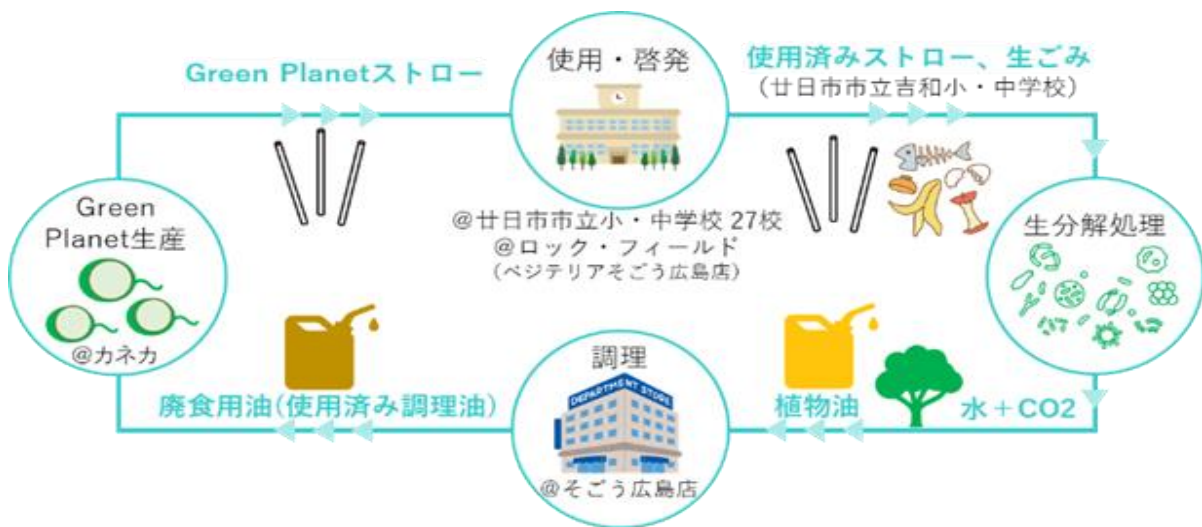


【そごう広島店】

官民連携で海洋プラスチックゼロに向けた取り組みを推進 資源循環モデルの実証実験に参加

そごう広島店は、株式会社カネカ、株式会社ロック・フィールド、広島県廿日市市と連携し、2024年9月1日(日)から2025年3月31日(月)の期間、カネカが開発した100%バイオマス由来の生分解性バイオポリマー Green Planet®(以下、Green Planet)を使用した資源循環モデルの実証事業に参加しました。本事業は、広島県が公募した「令和6年度海洋プラスチック対策(プラスチック使用量削減等)・リーディングプロジェクト支援補助金」に、カネカを代表事業者として採択を受けて実施するもので、ワンウェイプラスチックの削減およびリニューアブルの拡大・高度化等を社会実装するという補助金の趣旨に賛同し、相互に協働することで実現いたしました。

今回の実証事業では、そごう広島店から排出される廃食用油を原料の一部に使用してGreen Planet製のストローを生産。廿日市市立の小・中学校および、ロックフィールドがそごう広島店地階＝食品売場で運営する「ベジテリア」で使用するとともに、児童、市民への啓発活動を実施します。さらに、廿日市市立吉和小・中学校をモデル校として、オンサイトで生分解処理する循環モデルも実証します。Green Planetストローを使ったオンサイト型コンポスト処理モデルの実証は、西日本で初の取り組みです。



この取り組みにより、国連で定めたSDGsの目標 14・17の達成に貢献します。

